

令和3年度 “新”家庭教育宣言アンケート 集計結果報告 (県PTA 連合会様式)

問1. PTAで取り組んだテーマや内容は、ご家庭での課題と合っていましたか？

①合っていた	185
②合っていなかった	8
③取り組めなかった	30
④その他	9

・バタバタしていて中途半端になってしまった

・家庭で求められる教育のレベルが高いと感じた。現実には宿題を何とか終わらせること、食事のマナー、夜9時までには寝る事、最低限の取り組みで精一杯です。日々しかなかったり、なだめたり、こちらも泣いたり…とても他の家庭と比較できるような状況にないことがよくわかります。到底理想の家庭には程遠いことを実感するプロジェクトでした。

・毎日が忙しいのでよほど意識していないと、いつの間にか一日終わっていたりする。

・あまり取り組めなかったが、親も子も前向きにポジティブになれるテーマでよかった

・いつも通り、ほめる時はほめ、叱る時は叱りましたが、意識して行ったということはありません。

問2. 今回のテーマを取り組んでみて、良かったことは何ですか？

特に良かったことを選んでください。(複数回答可)

①子どもと話をすることが増えた	81	②子どもがおうちのきまりを守るようになった	22
③子どものことをほめるようになった	112	④子どもの言葉づかいがよくなってきた	3
⑤親自身のあり方を考える機会になった	87	⑥子どもをしかることができるようになった	1
⑦その他	18		

・いつも普通に言っていることが“ほめほめ言葉”になるの?!と思った。

・ほめていることを確認するようになった。

・意識してやることができた。

・ポジティブな声かけを心がける様になった。

・平凡が一番と思った。

・自分がほめ言葉をどれくらい言えているか、回数で数値化することで可視化できてよかった。

・よほど意識していないといつも通りです。

・子どもからの「ありがとう」の言葉が増えたように感じた。

・子どもが気が付かないうちにほめていたので「今日は○回ほめたんだよ。気づいた?」というと喜んでいた。

・子どもを普段結構怒っていたなあと感じた。

・自分自身の気づきになりました。

・親を含め、人の良い所を見つけるといっても素敵な“くせづけ”になると思う。

・もっとほめてあげようと思うようになった。

・子どもの悪い所ばかりでなく良い所を見る様になった。

・子ども自身がいつもよりたくさんほめられていることに気づいてうれしそうだった。

・子ども同士のお礼や声かけが増えたと思います。

・教師側は普段なかなか面と向かってほめられる機会がないので、保護者からのコメントがとても嬉しかったです。写真を撮らせていただきました。

問3. 今回のテーマの取り組みを、ご家庭で今後も続けようと思えますか？

あなたの気持ちに一番あてはまることを、1つ選んでください。

①ぜひ続けたい	80
②続けたい	136
③あまり思わない	12
④まったく思わない	0

問4. 今後、PTAで取り組んで欲しい内容があれば、選んでください。(複数回答可)

①親の教育力向上	51	②子どものしつけ	48	③金銭教育	77
④IT教育(携帯電話・インターネット利用に関わる教育)			75	⑤ふるさと教育	9
⑥国際理解教育	12	⑦ボランティア教育	13	⑧食に関する教育	43
⑨キャリア教育	7	⑩人権教育	32	⑪命の教育	91
⑫心の教育	79	⑬体の教育	38	⑭エコ教育	21
⑮発達障害教育	18				
⑯その他	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの将来につながる事 ・交通安全 ・犯罪に巻き込まれないために性教育 ・小、中学校では性教育について具体的な指導はない。もう少しふみこんだ内容をまず親にしてもらいたい。 ・友人宅に近所の放置子っぱい子が良く来て、長時間居て困っている。親もある程度常識が必要。 ・家のお手伝いへの取り組み ・お友達との付き合い方への取り組み ・不必要な物をなるべく買わないようにして、フードロスについて考える ・SDGsが今話題になっているのでやってほしい。 ・性教育については早い段階で指導する必要があると思う。 ・自主性・主体性・段取り力・生活力・片付け力をつける取り組み。 			

問5 「“新”家庭教育宣言」の取り組みについて、ご意見をお聞かせ下さい。

<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みやすい内容で今後も続けていきやすいのでとても良い。 ・少し期間が長くて途中で色塗りが面倒になってしまった。もう少し短期間で取り組めると良い。 ・子どもなりに真剣に考えて取り組んでいました。 ・孤独になりがちな子育てを、前向きに、周りのサポートが大きいと思います。 ・特別な事でなくても当たり前に行っていることへの感謝を伝える事の大切さを学びました。 ・個人では取り組みにくいので、プロジェクトとして参加できてよかった。 ・頭ではいつも褒めようと思っていても注意ばかりしてました。取り組みにより改めて考えて発言しようと気付いた。 ・親にゆとりがないと子どもを褒める事も出来ないなので、まずは親が心にゆとりを持たねばと感じた。 ・いろんな取り組みに家族全員で取り組み子どもと一緒に成長していけたらと思います。 ・ちょっと立ち止まって子どもとの関係や接し方に目を向けて行うことができ良かった。 ・子どもが親や兄弟に対して「ありがとう」と言ってくれることが増え、本人も何かしてもらったら「ありがとう」と伝える事を意識していた。感謝を伝える事を考えるきっかけになった。 ・子どもを教育するのは親や大人ですが、親・大人になりきれていない人が目に余ります。子どもは周りの親・大人をみて育ちます。共に学んでほしいと思います。
--

- ・感謝の気持ちや、思った事を“言葉にする”事が大事だと改めて思った。
- ・平日は忙しくてなかなか難しいので、週末・夏休み・冬休みを利用して取り組めるものであると助かります。
- ・家族で考え取り組むことにより、意識して子どもと関わるようになり親自身のあり方について改めて考える機会となり良かった。
- ・みんながみんなの良い所を見つけられることはとても良い事で、みんなが笑顔になれて良かった。
- ・親と子の関係を見直せるきっかけになるので良かった。
- ・言葉で優しい気持ちになれたり、頑張れたりして、続けていきたいと思った。
- ・子どもの言葉使いや声かけは、親から先に伝えていくと子どもも自然と身につけてくれるのかなと思った。
- ・ついガミガミと説教してしまうので、良い所を見る様に気を付け、ほめて伸ばすを意識できて良かった。
- ・良い事をすると良い事が返ってくるというように、相手を大切にできるようになったと思う。その分、自分を大切に自信が持てる取り組みだったと思う。
- ・毎日の生活態度に対し、時間を守る・人に迷惑をかけない・自分が出来る事は進んでやる等言い聞かせているが、怒ったり注意するだけでなく、小さなことでもほめてあげるとやる気アップにつながると思った。
- ・子どもたちの自尊感情が向上できたと思います。
- ・私自身も頑張ろうと思いました。
- ・たくさんのご家庭で取り組んでいただけて良かったです。
- ・せっかくの取り組みに参加しておられないご家庭があり残念に思いました。
- ・教師にもおほめの言葉を頂きありがとうございます。
- ・子どもは学校、そして各家庭との連携の中でみていく必要があると強く思います。子どもの将来を今後も考えていきたいと思っています。

ご協力ありがとうございました。